

第129回 信州整形外科懇談会

日本整形外科学会認定教育研修講演

(日整会 専門医1単位)

講師：福島県立医科大学医学部 整形外科学講座

主任教授 紺野 慎一 先生

演題：慢性腰痛の病態と治療

日時：2022年8月20日(土) 14:00～

会場：上田 東急REI ホテル メインバンケット「信濃」

参加費：3,000円(初期研修医・コメディカル；1,000円)

(参加には事前の申し込み、参加費振り込みが必要になります。当日は本プログラム送信の際に添付してあるコロナ感染症チェックシートを記載の上、会場入り口にてご提出をお願いいたします。チェックシートの提出をもって参加受付とさせていただきます。)

抄録掲載料：1,000円(発表者)

単位申請料：1,000円(日整会教育研修単位取得希望の場合、事前に単位申し込み、単位料振り込みが必要になります。申し込み時に日整会の会員番号が必要となります。

単位の認定は当日、会場にてカードリーダーで行いますので、日整会カードをお持ちください。)

発表表：1例報告1題4分、その他5分、討論2分、パソコン単写

抄録：信州医学会雑誌に掲載されます。

当番幹事 国保依田窪病院 整形外科

三澤 弘道

信州大学整形外科懇談会事務局

TEL 0263-37-2659(直通) FAX 0263-35-8844

共催 信州整形外科懇談会／科研製薬株式会社

参加方法と発表形式について

信州整形外科懇談会 入力フォーム

<https://forms.gle/sE5rVxcXxihwpXiL9>



参加申し込み Google フォーム入力締め切り: **2022年8月10日(水)**

参加方法

Google フォーム <https://forms.gle/sE5rVxcXxihwpXiL9> より必要事項を入力後に、金額を確定して事務局よりメールにてお振込みを依頼いたします。指定された金額を下記口座へ**お名前のみ**を御明記の上お振込みください。

八十二銀行 信州大学前支店 普通口座 142543
口座名義：信州整形外科懇談会事務局

参加費振り込み締め切り: **2022年8月12日(金)12:00(正午)**

※手続きの都合上、申し込み、振り込み早めに設定されています。ご協力をよろしく願います。

※会費振り込み後、当日不参加となった場合、参加費は返金いたしますが、振込手数料を引いた金額での返金となります。

発表者の方へ

① 発表用 PowerPoint ファイル(音声は不要です)

ファイル提出用 Google フォルダ内に提出してください。

発表用ファイルの提出締め切り: **2022年8月15日(月)**

※発表用ファイルを共催の**科研製薬株式会社**で確認するため、**締め切り厳守**で願います。

② 信州医学雑誌用の抄録(本文 400 文字)

ファイル提出用 Google フォルダ内の「信州医学雑誌用抄録ひな形(400 字)」(Word ファイル)に上書きして信州医学雑誌用の抄録を作成してください。

抄録には演題名、所属、演者名、400 字以内の本文をご記入願います。

信州医学雑誌用抄録提出締め切り: **2022年8月20日(土)**

製品紹介 (14:00～14:10)

腰椎椎間板ヘルニア治療剤 ヘルニコア椎間板注用 1.25 単位 科研製薬株式会社

上肢① (14:10～14:50)

座長：古作 英実

1. リバース型人工肩関節全置換術後の肩峰骨折の検討

北アルプス医療センターあづみ病院 整形外科

○小田切優也、石垣範雄、太田浩史、中村恒一、向山啓二郎、狩野修治、
政田啓輔、伊藤慎太郎、畑 幸彦

リバース型人工肩関節全置換術(RSA)における術後合併症として肩峰骨折がしばしば認められる。今回我々は、腱板広範囲断裂や変形性肩関節症に対し RSA を施行した 180 肩における肩峰骨折の発生頻度やその要因について調査したので報告する。

2. *橈骨頭骨折術後に発症した遅発性肘関節滑膜炎の1例

信州大学 整形外科

○久米田慶裕、林 正徳、岩川紘子、宮岡俊輔、北村 陽、磯部文洋、高橋 淳
23 歳男性。18 歳時に橈骨頭骨折に対しチタン製スクリューによる ORIF 施行後、遅発性の肘関節滑膜炎を発症した。金属アレルギーが疑われパッチテストを行うも陰性であり、最終的にインプラントの抜去により症状は改善した。

3. *上腕骨遠位 coronal shear fracture に上腕三頭筋腱皮下断裂を合併した1例

北アルプス医療センターあづみ病院 整形外科

○政田啓輔、中村恒一、太田浩史、石垣範雄、向山啓二郎、狩野修治、
小田切優也、伊藤慎太郎、畑 幸彦

症例は 15 歳男児。上腕骨遠位 coronal shear fracture は比較的稀な骨折であるが、上腕三頭筋腱皮下断裂を合併したものはさらに稀である。我々は手術を行い、良好な短期予後を得たので報告する。

4. ＊骨付き有頭有鉤骨靭帯を用いた舟状月状骨靭帯再建の1例

岡谷市民病院 整形外科¹⁾

かもいクリニック²⁾

○新津文和¹⁾、鴨居史樹²⁾、日野雅仁¹⁾、田中 学¹⁾、春日和夫¹⁾、内山茂晴¹⁾

陳旧性の舟状月状骨靭帯断裂による手根不安定症に対する治療はいくつかあるが、コンセンサスは得られていない。今回我々は骨付き有頭有鉤骨靭帯を用いた舟状月状骨靭帯再建の1例を経験したので報告する。

5. ＊中学生で発見された未治療握り母指症例に対し、装具治療が奏功した1例

飯田市立病院 整形外科

○内田美緒、伊坪敏郎、畑 宏樹、畑中大介、伊東秀博

先天性握り母指症は可及的早期の矯正治療が推奨されており、2歳以降では装具治療での改善が期待できないとされている。今回14歳男児の先天性握り母指症例に対し、装具治療が奏功した症例を経験したので報告する。

上肢②・腫瘍・その他 (14:50～15:30)

座長：高沢 彰

6. 手根骨骨片を整復固定し骨癒合を得たCM関節脱臼の4例

長野市民病院 整形外科

○谷川悠介、松田 智、橋本 瞬、石井 良、藍葉宗一郎、新井秀希、藤澤多佳子、中村 功

2013年から2021年の期間でCM関節脱臼をきたした4例(全例男性、平均年齢32.3歳)に対して、CM関節固定は行わず、手根骨骨片を整復固定することで全例骨癒合を達成し、良好な成績を得られたので報告する。

7. ＊犬咬傷により生じた指神経損傷の1例 ～静脈ラッピング術後の経過～

佐久穂町立千曲病院 リハビリテーション科¹⁾

佐久穂町立千曲病院 整形外科²⁾

○星野貴正¹⁾、井出祐里恵¹⁾、木次翔子¹⁾、隅田 潤²⁾

犬咬傷による指神経損傷例に対して、静脈ラッピング術を行った。感覚障害部位は術後1か月程で触れることが可能となり、術後4か月で耐えうる状態に改善した。関節可動域の制限あるが仕事復帰に達した。

8. ＊「あなたならどうする？この症例」

長野県立こども病院 整形外科

○秋元郁恵、松原光宏、酒井典子

14歳 女児。線維性骨異形成症に伴う大腿骨転子部のmicro fractureを繰り返し、羊飼いの杖変形に至った。今回も同様の骨折を認めしたが、保存的治療ではなく大腿骨転子部矯正骨切り術を行った。皆さんなら今回どう対応しますか。

9. *脛骨骨血管肉腫の1例

信州大学 整形外科

○善賤未結、岡本正則、宮岡俊輔、青木 薫、鬼頭宗久、田中厚誌、小松幸子、出田宏和、高橋 淳

脛骨骨血管肉腫の33歳男性に対して腫瘍広範切除術、処理骨および遊離腓骨移植による再建を行った。術後1年で骨癒合を認め全荷重と職場復帰を許可した。術後1年8か月で再発転移なく良好な患肢機能が得られている。

10. *急性化膿性股関節炎を生じた大腿骨頸部 Brodie 膿瘍の1例

信州上田医療センター 整形外科

○千年亮太、高沢 彰、中村駿介、赤羽 努、吉村康夫

症例は71歳男性。大腿骨頸部の病的骨折疑いで紹介となった。CTで大腿骨頸部に辺縁硬化を伴う透亮像があり前方皮質の一部が途絶しており血液データ、股関節穿刺で化膿性股関節炎と診断し関節切開、洗浄を行った。経過、画像所見から骨膿瘍が関節内に穿破し化膿性股関節炎が生じたと考えられた。

————— <休憩 20分> —————

下肢 (15:50~16:35)

座長：小山 傑

11. * 同側大腿骨頸部骨折および転子部骨折を合併した1症例

伊那中央病院 整形外科

○中井亜美、原 一生、樋代洋平、比佐健二、荻原伸英、奥原大生、小池 毅

同側大腿骨頸部及び転子部骨折、膝蓋骨骨折を同時に受傷し、髓内釘とひまわり法による骨接合術を施行した症例を経験した。術後6か月時点で疼痛なく全荷重で独歩可能、それぞれ骨癒合得られており、経過良好である。

12. 人工股関節再置換術における定期受診群と長期未受診群の術前画像・手術所見の比較検討

信州大学 整形外科

○福澤耕介、下平浩揮、熊木大輝、岩浅智哉、吉田和薫、小山 傑、天正恵治、堀内博志、高橋 淳

当院で施行した ReTHA45 例を定期受診群と長期未受診群に分け術前画像や手術所見について比較した。長期未受診群は骨欠損が大きく、手術時間や術中出血量も多かった。THA 後の定期的なフォローは重要である。

13. *両側非骨症性下腿慢性コンパートメント症候群の1例

飯田市立病院 整形外科

○畑 宏樹、畑中大介、内田美緒、伊坪敏郎、伊東秀博

15 歳男子。体育の授業中に両下腿の筋肉痛が出現、その後疼痛は増強し歩行困難となった。区画内圧高値を認め、病歴から両側非骨症性下腿慢性コンパートメント症候群と診断し、同日緊急筋膜切開を行った。

14. リスフラン関節脱臼骨折の2例

北アルプス医療センターあづみ病院 整形外科

○伊藤慎太郎、太田浩史、狩野修治、石垣範雄、中村恒一、向山啓二郎、小田切優也、政田啓輔、畑 幸彦

リスフラン関節脱臼骨折は比較的稀であり、X線撮影で診断し難いことがあり、整復不良が残存すると将来的な変形が生じるとされている。リスフラン関節脱臼骨折の2例を経験し、術後良好な成績が得られたので報告する。

15. *当院での第4・5中足骨-立方骨間脱臼骨折の経験

長野市民病院 整形外科

○石井 良、藍葉宗一郎、橋本 瞬、谷川悠介、藤澤多桂子、新井秀希、中村 功、松田 智

61 歳男性。高所から転落し第4・5中足骨-立方骨間の脱臼骨折を受傷した。立方骨の関節面の底側が転位し、中足骨の底側への亜脱臼を生じていたため、足背からアプローチを行い直視下に立方骨の関節面を整復固定した。

脊 椎 (16 : 35~17 : 10)

座長：滝沢 崇

16. *頸椎分離すべり症の1例

国保依田窪病院 整形外科

○泉水康洋、滝沢 崇、由井睦樹、古作英実、重信圭佑、三澤弘道

比較的稀な疾患である頸椎分離すべり症の1例を報告する。64 歳女性。両上肢の疼痛、しびれを主訴に受診した。C6 分離すべり症の診断で手術療法を行った。術前の主訴はいずれも改善した。

17. ＊アルコール離脱せん妄の対応に難渋した腰椎破裂骨折の1例

信州大学 整形外科

○古泉啓介、上原将志、池上章太、大場悠己、畠中輝枝、宮岡嘉就、鎌仲貴之、林 幸治、福澤拓馬、奥田 翔、高橋 淳

47歳男性が6mの高さから転落し受傷、腰椎破裂骨折の診断で当院へ転院搬送となり、緊急で後方固定術施行した。術後4日目にアルコール離脱せん妄を発症し、安静制限に難渋した症例を経験したので報告する。

18. 化膿性椎間板炎に対する当院の取り組み

国保依田窪病院 整形外科¹⁾

国保依田窪病院 総合診療科²⁾

○重信圭佑¹⁾、滝沢 崇¹⁾、由井睦樹¹⁾、古作英実¹⁾、泉水康洋¹⁾、三澤弘道¹⁾、佐藤泰吾²⁾

当院では化膿性椎間板炎に対して総合診療科併診で加療している。原因菌を経皮的椎間板生検で同定した症例、切開生検で同定した症例、同定不能だった症例を経験し、当院の治療フローチャートを作成したので報告する。

19. ハイブリッド手術室での脊椎ロボットアーム Cirq の初期経験

信州大学 整形外科

○奥田 翔、福澤拓馬、池上章太、上原将志、大場悠己、畠中輝枝、宮岡嘉就、鎌仲貴之、林 幸治、古泉啓介、高橋 淳

信州大学整形外科では2022年5月に手術支援ロボットアーム Cirq®を導入した。脊柱側弯症や脊椎変性疾患など、背骨にスクリューを挿入する手術が対象となる。本発表ではCirq導入初期の手術成績を報告する。

<総会、休憩 20分>

教育研修講演

(17:30～18:30)

講師： 紺野 慎一 先生

福島県立医科大学医学部整形外科学講座 主任教授

演題： 慢性腰痛の病態と治療

座長 高橋 淳 先生

信州大学医学部 運動機能学教室 教授

認定単位： 日本整形外科学会専門医資格継続 1 単位

([7] 脊椎・脊髄疾患、[8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)

または認定脊椎脊髄病医単位 (SS))

事前に単位申し込み、単位料振り込みが必要になります。当日の対応はいたしかねます。

※単位の認定は当日、会場にてカードリーダーで行いますので、日整会カードをお持ちください。

上田東急 REI ホテルのご案内

URL : <https://www.tokyuhotels.co.jp/ueda-r/index.html>

